

10 月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和元年 10 月 24 日（木）14 時 59 分～15 時 57 分
- 2 開催場所 武雄市役所 6 階委員会室
- 3 出席者名 教 育 長：浦郷教育長
教育委員：教育長職務代理者、副島委員、大庭委員、馬場委員、岡本委員、
松尾委員、大渡委員
事 務 局：松尾こども教育部長、牟田こども教育部理事、諸岡教育総務課
長、弦巻こども未来課長、野田こども未来課参事、竹内学校教育
課長、百合学校教育課参事、諸岡新たな学校づくり推進室長、
野口文化課長、杉原教育総務課長代理、中川内生涯学習課生涯
学習係長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【馬場委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 令和元年 9 月定例教育委員会会議録
- 8 教育長の報告
 - 1 豪雨災害対応について
9 月 30 日 災害対策本部 解散
10 月 7 日 自衛隊 撤収
 - 2 国・県・西部地区・杵西地区の動向
(1)教科用図書採択について
(2)働き方改革について
(3)管理職選考受検者 校長・副校長 小中 9 名（内女性 2 名）
教頭 小中 13 名（内女性 5 名）
 - 3 学校教育
(1) キッズウイーク 10/11(金)～14(月・祝)
家族と地域での時間をつくる
(2) 中体連駅伝地区大会 男子 1 位 川登中 2 位 武雄中
女子 1 位 武雄中 3 位 山内中
11 月 8 日 県大会（ふくどみマイランド公園）

(3)山内東小犬走分校 児童募集

4 その他

(1) 図書館に対する損害賠償等請求事件について最高裁は「棄却」判決

10／1に判決

(2) 高濱正伸氏講演会 「メシが食える大人」に育てる

来年度 御船が丘小学校で開始（全11校）

(3) 9／26 全国防犯協会連合会「功労ボランティア団体表彰」

武雄市青少年育成市民会議 山下会長受賞報告

10／21 北方中学校 時事通信教育奨励賞 特別賞

10／24 大坪 勇郎氏 全国社会教育委員連合表彰

11／3 市表彰・市教育委員会表彰

(10／2 宇宙少年団 20周年)

10／10 地方教育行政功労者表彰 文部科学省にて

11／17 武雄人間力大賞 表彰

10／26（土）9：00 北方町青少年育成町民大会

9 議 事

(1)提出議案

(2)協議事項

(3)報告事項

①キッズウィークについて

②図書館の選書について

10 各課等からの報告

11 次回開催日程について

【令和元年11月15日（金）15時～武雄市役所4階会議室】

12 その他

13 閉会

14 会議録

午後2時59分 開会

○教育長職務代理者

今日は田中委員さんと堀田委員さんはお休みということですので、早速始めたいと思います。

今日は昨夜からのあいにくの雨になり、結構降りましたが、これからは一雨ごとにだんだん寒くなって行って、紅葉がきれいになってくるということですが、今回は8

月の水害と、それから台風 19 号による東日本の大規模な洪水被害ということで、被害に遭われた方々の気持ちを思うと、何となく紅葉を見るという気にもなれないなど、重苦しい気持ちだなと思っております。これから寒くなりますので、被災地の方は健康にはくれぐれも注意して頑張っていたいただけたらと思っております。

それから、皆様御存じのとおり、10 月 10 日に文科省で行われました地方教育行政功労者表彰式で浦郷教育長さんが表彰されました。本当におめでとうございます。(拍手) また今後とも頑張っていたきたいと思えます。

それでは、早速始めたいと思えますけれども、まず議事録署名人の指名ですけれども、この前は大庭委員さんでしたので、今回は馬場委員さんになっております。よろしくお願いいたします。

それから、前回の議事録承認ですけれども、9 月の議事録について何か変更点等がありましたらお願いいたします。

ないようでしたら、このままでいいですかね〔「はい」と声あり〕。

じゃ、このとおりに承認ということをお願いいたします。

それでは次に、教育長の報告をお願いいたします。

○教育長

皆さんこんにちは。昨日は流鏑馬がありまして、夕方、当たりの届けていただいたんですが、また今年もこの時期になったなど、年末に向けてそういう季節の移ろいというのを感じたところであります。

幾つか御報告を申し上げます。

豪雨災害対応につきましては、次第に落ち着きつつあるわけですが、9 月末には災害対策本部も終了しまして、それから 10 月 7 日には自衛隊も撤収をされました。それ以前に、北方小、朝日小におきましては感謝の気持ちにあふれた感動的な時間を設定していただきました。

被災した学校においては、事後の観察など、継続した指導を行っております。ただ、実際はさまざまな業務が発生するわけですし、その詳細については後で部長のほうから報告をいたします。

国・県・西部地区・杵西地区の動向でございますが、ことは教科用図書の採択、小学校の部分を中心に、事務局もちょっと大変なんですけれども、来年度、中学校採択につきましては伊万里市と嬉野市で事務局をお願いしています。どういうことかといいますと、前は杵西地区、藤津地区は別々であったわけで、今年度の小学校については研究してもらう教職員、研究員、選んでいただく選定委員と、これを杵西地区、藤津地区合同で研究をしてもらう、選定をしてもらうということにしたわけです。将来的には、杵西、藤津関係なくできるんじゃないかと考えておりますけれども、今度の中学校までは今年度と同じような形で

研究と選定だけは一緒にするという事、採択は当然、杵西地区、藤津地区別々でやると。4年後の採択については合同もあり得るんじゃないかという話をしているところです。

それから、働き方改革についてであります。今年度、教職員につきましては大きく2つの改善がなされております。1つが働き方改革であって、もう一つが給与への反映を意図した人事評価であります。今年度、2つとも非常に大きな事業でありまして、定着すれば、慣れも出てきましようが、校長先生方は非常に苦勞していただいているというのが現状でございます。

9月28日には、参加いただきましたけれども、市連Pの各校の会長さん方との懇談会、10月16日には県のPTA連合会と県教委を交えた情報交換会をいたしました。県の会議では、資料がいつているかと思いますが、「学校における働き方改革への取組」として、教職員課が出したことになっていますが、一番上に書いてありますように県Pとの合同研修会。

その中で、大筋合意をしたのがページの2、「児童・生徒の適正な登校時間の設定について」ということで、四角囲みにありますように、児童の登校時間を朝の7時半からというぐらいただったら、全県的に同歩調でできるんじゃないかという協議をしております。まだ学校にはおろしておりませんので、基本的にそういう方向でいこうと思います。夏場などは7時半といっても、早い時間から来ている子どもがおりまして、夏だったらいいんですが、冬に早い時間に来ていると、玄関で立っているのになぜ開けないのかという声が出てまいります。いろいろありますけれども、勤務時間等を考慮していくと、7時半ぐらいただたらできるんじゃないかという意見になっております。

それから、3ページは時間外の電話対応。今もお盆の学校閉庁日などに何かあったら教育委員会にとしているんですが、ほとんど電話はありません。ただ、緊急がないとは言えません。そのときの対応をどうするか。これは各市町でまちまちなんですけれども、ちょっとうちの場合も検討していかなければいけないというふうに思っております。

そういうことで、少しずつ働き方改革についての取り組みの方向が出てきているということなんですが、幾つか心配材料もありまして、じゃ、先生方はいつ研修したり、同僚と話し合いを持ったりするのか、時間どおりにいきますと、ほぼ取れないような形になるんじゃないかと。今の教育の質を維持できるかということで心配であります。これは共通した悩みになっていこうかと思っております。検討していかなければいけないと思っております。

それから、管理職の選考が今あっておりますが、今年是一次は書類審査ということになりました。ほとんどの人が一次は通過している状況です。校長、副校長に小中で9名、うち女性が2名受けておられます。教頭が小中で13名、うち女性5名というふうになっております。

校長で考えますと、昨年度が1名であられて、あと4名は副校長になるという、ちょっと年齢的に若かったのもありますけれども、そういう状況でありました。ですから、そのあた

りを校長会でも一緒に勉強したりしてもらっております。これはちょっと私どもでどうこうできない部分があるところです。

学校教育については、キッズウィークを10月11日から14日ということで、後で詳しく報告があると思います。

それから、中体連の駅伝が非常に大活躍してくれまして、男子も女子も1位をとって、3位も、それから男子は2位が武雄中ということで、久しぶりに武雄中が強かったころ以来じゃないかなと思います。非常にすばらしい成績を得ていております。

それから、これも後から話が出ると思います。犬走分校については児童募集を今年度も考えているということです。

その他といたしまして、図書館に対する損害賠償請求事件というのがあっておりまして、10月1日に最高裁で棄却という判決が出ております。

それから、高濱正伸氏の講演会ですね。来年度から御船が丘小学校でも開始することにちなみまして、講演会にはたくさん参加していただきました。

それから、9月26日に全国防犯協会連合会から功労ボランティア団体として青少年育成市民会議が受賞されております。わんわんパトロールとか、ウォーキングジョギングパトロール、いろいろアイデアを持って子どもたちの安全のために活動していただいたということでもあります。

それから、北方中学校が時事通信教育奨励賞特別賞ということで、ICTに関しての表彰であります。これも非常にすばらしい表彰であります。

本日、大坪勇郎氏が全国社会教育委員連合表彰で多分今、受賞されているところだと思います。

11月3日には市の表彰、教育委員会の表彰をする予定です。括弧書きして、宇宙少年団20周年ということを書いておりますが、10月12日にありましたけれども、宇宙科学館と同時に宇宙少年団の活動を、新井康平先生をリーダーにずっと20年続けてきてもらっております。宇宙科学館があることから、武雄ならではの宇宙少年団活動でございます。

それから、11月17日には武雄人間力大賞ということで表彰をする予定です。これは青年会議所が主催しております。

10月26日、北方町青少年育成町民大会ということで、公民館のほうになっていましたけれども、ちょっと使えませんので、北方小学校の体育館であるようになっております。

最後は、地方教育行政功労者表彰ということで10月10日に表彰していただきました。いろんなことを理由として上げてありました。例えば、ICT教育とかプログラミング教育もそうですし、「花まる学習」もそうです、図書館もそうです。考えますと、事務局の皆さんには非常に苦勞もかけました。また、教育委員の皆様にも非常に事が大きかったがために、いろんな御心痛もかけて協議いただいたことがたくさんあったわけです。どれをとっても、

私がどうこうしてできたものではないわけで、教育委員の皆さん初め、首長部局もそうですし、議会もそうですし、事務局、学校、公民館含めて、それぞれの皆さんが精いっぱい頑張っていたいてのことだと感謝をしているところであります。本当に心身ともにぎりぎりの状態で進めてもらった仕事もたくさんございました。初めての取り組みという面も多かったわけであります。

しかし、まだ振り返るには早過ぎると思っておりますので、またこれから武雄市教育の質の向上ということでまたお力をいただきながら頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。

それでは、こども教育部長お願いいたします。

○こども教育部長

私のほうからは災害対応等の報告になります。

8月末の豪雨から約2カ月ということになりますが、現在、市役所の1階、市民ホールのほうで罹災証明、あるいは各種減免申請の受け付け、相談窓口を設置しているという状況です。

災害対応の業務については、先ほど教育長から報告がありましたように、少しずつは落ちてきているようには感じております。ただ、農林災害とか土木災害の現場の査定業務等はこれからということで私も報告を聞いております。現在までの床下浸水以上の住まいへの被災に係る罹災証明の申請件数については、現時点で1,218件という数字になっております。

先月の定例教育委員会で審議いただきました保育料、あるいは放課後児童クラブの減免申請の状況については、保育料の減免申請で38世帯48名分、これは現時点では対象者数の約5割となっています。放課後児童クラブの利用料の減免申請は現時点で11世帯16名、これは対象世帯の約4割という状況となっております。

今後ですけれども、12月議会に向けまして、さらに小・中学校の児童・生徒の被災世帯に対する経済的負担の軽減ということで学用品の購入、給食費、あるいは修学旅行に要する経費の減額支援、就学援助について現在検討をいたしております。これについては財源が伴いますので、今後、財政課と調整をしながら、進み具合によっては来月の定例教育委員会に減免基準等を定める要綱案を提案していきたいという予定で現在進めております。よろしくお願いいたします。

私のほうからは、災害対応についての報告は以上です。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。教育委員さんで何か御質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうかね〔「なし」と声あり〕。

じゃ、よろしく願いいたします。

それでは、次に移ります。

議事ですけれども、今日は提出議案、それから協議事項ともありません。次は報告事項になりますけれども、それでよろしいですか。じゃ、お願いいたします。

○教育総務課長

資料2 ページをごらんいただきたいと思います。

今年度のキッズウイーク、ことしは10月11日から14日までにつきまして御報告をいたします。

教育委員会関係におきましては、各町公民館でキッズルーム、放課後子ども教室等を開催しております。全体で約290名の皆さんに御参加いただいております。こどもの貧困対策課の笑顔コーディネーターの先生方にもお手伝いをいただいております。また、各町ではボランティアの皆さんにいろいろ御協力をいただいております。

次に、図書館・歴史資料館、こども図書館におきましては、全体で870名のたくさんの皆さんに御参加をいただいたところです。

次に、放課後児童クラブにおきましては、11日が265名の子どもさんで、12日は74名ということで登録されている方の割合からいくと3割程度の方が参加をされております。今年は8月の豪雨災害を受けまして、放課後児童クラブにおきまして子どもたちに防災講座ということで開催をしたところです。武内小学校の武内児童クラブで防災講座を開催いたしました。その他の児童クラブにおきましても非常食の試食などを開催いたしました。今年災害を受けたからこそこの講座ということで開催をいたしました。サガテレビさんのニュースでも流れましたので、ご覧いただいているのではないかと思います。

ほかに市関係といたしましては、今年度初めての試みで武雄版の新体力テストということで、スポーツ課のほうが開催をいたしました。この分は親子43組のたくさんの皆さんに参加をいただきました。この分もテレビのNHKで流れていたかと思います。

あと商工観光課の親子でオルレ体験は、24名の方に参加をいただいているところです。

そのほかにも協力事業所さんですとか、NPOさん、岡本委員さんのAスタさんとかにもイベントのほうで御協力をいただいたところでございます。

今年は災害が8月にございました関係で、それまでは事業所ですとか学校とか、いろんなところへ周知活動も行っておりましたけれども、事業所さんの被災とか、あと保護者の方も被災をされているということもありまして、周知活動が最後のほうはちょっとうまくはできなかったのかなというところがございます。

10月30日に庁内でまた今年度の実施状況について検証をする予定にしております。

一応来年度、キッズウイークは10月9日が学校休業日になりますので、12日までの4日間、4連休という形で実施するような予定になるのではないかなと思っております。

以上でございます。

○教育長職務代理者

どうも御苦労さまでした。今年度も本当に忙しい中に前期と後期の間にキッズウイークをこういうふうにさせていただきました。お疲れさまでした。

何か委員さんのほうで御質問等ありましたらお願いいたします。A委員さん。

○A委員

キッズウイークについて何点か質問と、あと生の声を聞いたのでお伝えしたいと思います。

アンケートか何かを、どうやって過ごしましたかというアンケートがあるかどうか、児童というか、家庭に対して、もしあったらいいなと思います。

あと実際、キッズウイークの初日は中学校とかも部活はなるべくないように学校に伝えてあるという話だったんですけど、ちょっと会ったお母さんから、せっかく夫婦で有休をとったのにその金曜日が部活が入ってしまったということで、とても残念がっていらっちゃって、そのお母さんが言われたのは、水曜日の働き方改革の日にその日部活をしてでも金曜日をやっぱり休みにしてほしいかと、自分たちも有休をとってせっかくという矢先にくくとモチベーションが下がってしまったと言われたので、そこがどれくらいの割合でそれが本当だったか、その1部活だけだったかもしれないですけど、ちょっとそこが残念だったなと思ったので、一応来年もそこをもう一回先生方にも理解をしていただきたいなと思った点と、それに関しまして、中学校はそれで結構周知がいったと思うんですけど、社会体育をしている子たちもやっぱりキッズウイークは家族と過ごしてほしいなという、一日でもそういう日があったらいいなと思ったような社会体育も見受けられたので、もしよかったら社会体育の指導者の方々には、子どもさんがいらっしやらなかったり、あと学校と関係がないところで、もしかするとキッズウイークのことを知らない方がいらっしやったのかもしれないと思って、社会体育の指導者の方にも実はこういうのがあっているんですというのを伝えていく手段があると、もうちょっと家族時間が増えるのかなと思いましたので、お伝えしておきます。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。何か今の件でお答えできる分がありましたら。

○B委員

部活は、去年は絶対するなということだったけど、今年はあんまり言われなかったということですかね。

○学校教育課長

いや、部活のほうも去年と同じレベルですけど話をしています。

○A委員

私がこう言ってしまっって、あそこが怒られんさっかもしれんですね。たまたまちょっと

スーパーで会ったお母さんから、引っ張られて相談をされて。

○B委員

ただ、金曜日に部活をしないというのは1つ問題があって、その次の土日に試合が入っているところがあるんですよね。だから、体を動かさないまま試合に臨むよりもという、中学校からそういう要望はたくさん去年出たんですけどね。

○A委員

たまたまそこは部活が運動系じゃなかったんですよ、文科系だったので。特にその親御さんはちょっと不思議がられていたのかなと。

○教育総務課長

アンケートの件につきましては、今年は、今のところアンケートはとる予定にはなっておりません。ただ、保護者の方の意見ですとか、そういったものをどういった形で集約するかは今度の会議で検討していくようになっておりますので、そういった中で、また検討していきたいと思っております。

以上です。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。A委員さん、いいでしょうか。

○A委員

ありがとうございます。

○教育長職務代理者

ほかにないでしょうか。C委員さん。

○C委員

先ほど少し御報告もあったので、私のほうからも報告をさせていただきたいと思います。

13日に旧市役所前の中央公園で、NPO法人Aスタで合戦のイベントを行いました。午前午後、合わせて延べ91名の大人、子どもの参加、そして21名の高校生のボランティアが来てくれました。あと九電さんとか、市内の飲食店さん、合わせて12名ぐらいの方がお店とか振る舞いとかをしていただいて、延べで124名の方に来ていただいております。

特に今回は武雄の中心でも初めて合戦をさせていただいたおかげで、いろんなお店とか、あと武雄高校のボランティア部が十数名来てくれました。お手元に11月3日の、ちょうど表彰の日なんですけれども、朝日がもともとふれあい祭りを計画していた2日、3日が、今回の水害でちょっと中止になってしまったんですが、どうしても子どもクラブのお父さん、お母さんたちは子どもたちが全ての行事が中止になり続けているので、ぜひやってくださいということで合戦を計画しております。

その合戦にも武雄高校のボランティア部はその縁でここに一緒に来てくれることになりました。ちょうど表彰のときなので、皆さんは来れないと思いますけれども、午後まで一応出

店等はやっていますので、よろしかったら来ていただければと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。

ほかにないでしょうか〔「なし」と声あり〕。

次に、各課からの報告、事務局から何か連絡はありますか。はい、お願いします。

○文化課長

文化課のほうからはお願いと御案内をいたします。

資料のほうは本日お配りをしております「第1回たけおっ子の主張」実施要項のほうとカラーのチラシの「蘭学の競演」の2点についてお話をいたします。

まず、「第1回たけおっ子の主張」についてですが、こちら第1回ということで経緯のほうをお話いたしますと、武雄市青少年育成市民会議のほうで隔年、研究大会を開催していましたが、平成29年度の大会で終了いたしております。また、武雄市弁論大会・話し方大会も60回目を節目として、平成30年度で終了しております。ただし、この両大会は非常に価値があるものと考えておりまして、両大会の目的を踏襲し、「たけおっ子の主張」という新名称で、たけおっ子が自分たちの考えていることを発信する機会を設けることにいたしました。

開催の目的であります、「①物事に対して自分なりに感じることのできる心豊かな“たけおっ子”を育む。」「②言いたい時に言いたいことを自由に言える“たけおっ子”を育む。」「③言うべき時に言うべきことを自在に言える“たけおっ子”を育む。」この3点については、これまでの弁論大会の開催目的でもございました。今回、「④聴き手は、発信された“たけおっ子”の考えや思いをこれからの子どもの指導や見守りに利活用できる。」これを新たに目的に加えて、大人のほうが子どもたちの考えを受けとめ、それを取り組みに生かす、そういった趣旨で、たけおっ子の主張を初めております。

1、主催につきましては、武雄市青少年育成市民会議、武雄市小中校長会、武雄市教育委員会としております。

3、日時ですが、11月24日日曜日、13時から16時30分の予定にしております。

4、会場については、武雄市文化会館小ホール、5、発表テーマは自由です。

6、出場者につきましては、昨年までの小中学生各校1名に加えて、市内の保育園、幼稚園、認定こども園に呼びかけをいたしまして、希望する園2園が年長クラスで出場することになっております。

裏のほうを見ていただきまして、7、発表時間ですが、4分以内としております。

また、当日のプログラムのほうで、開式の前に長年弁論大会に御尽力いただきました武雄市弁論研究会会長谷口様に感謝状を贈呈することにしております。

また、10、コメンテーターということで、今回、優劣をつけるような、順位をつける審査は行わないんですが、出場者に対してコメントを書くということで、団体の代表の10名の方をお願いするようにしております。教育委員の皆様からは2名お願いできたらと思っております。

今回は、今までは全員の子どもたちにコメントを書いていたんですが、やはり非常に負担がありましたので、1人の出場者に対し、2人のコメンテーターがコメントを書くということで、後ほど終了後に出場者のほうにお渡しするような仕組みにしております。また、コメンテーターのコメントの記載要領などについては後日文書でお知らせをいたしたいと思っております。

11、表彰、優劣や順位づけはしませんが、参加された皆さんに賞状と出場記念品をお渡ししたいと思っております。

また、12のほうで県民会議主催の主張大会が来年の夏休みにございますので、こちらの出場者の推薦の参考のほうにいたしたいと思っております。

以上、御説明になりますが、お時間があれば教育委員の皆様にもぜひ御参加をお願いしたいと思っております。

また後ほど、コメンテーターのお二人の選出もお願いしたいと思っております。

2点目に、「蘭学の競演 津山×武雄交流展」のチラシのほうをごらんいただきたいと思っております。

今年度の武雄市図書館・歴史資料館の特別企画展となっております、11月16日から12月15日までの予定です。津山のほうも洋学がかなり研究が盛んにされておりましたので、この両市で連携をいたしまして今回の企画としております。

右の下のほうに特別講演と書いておりますが、12月1日に津山洋学資料館の元館長の下山様から特別講演「津山の誇る洋学のはなし」ということで、企画をいたしておりますので、こちらをあわせて御案内いたします。

また下のほうですが、現在、岡山県の津山市の津山洋学資料館で武雄の企画展示がされております。こちらは11月4日までとなっております。

以上、御案内いたします。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。D委員さんお願いいたします。

○D委員

自分も青少年育成市民会議のメンバーなんですけど、これまでの話の中で、会場は市役所の1階というのが、一方では文化会館もいんじゃないかという中で、市役所のほうを強く押されていましたが、また元に戻ったことと、あと高校生も何か武雄高校をモデル的に出していこうという話も聞いていますけど、それは何かあったんですか。

○文化課長

まず、1点目の会場の場所なんです、市役所の1階ホールのほうを希望しておりましたが、現在、復興対策室のほうで相談案内とかがあっておりますので、ちょっと使用ができないということで、また変更いたしまして、小ホールのほうにいたしております。

また2点目の高校生の件なんです、やはり武雄市内の武雄高校生にぜひということで調整をいたしましたが、実はテスト期間中ということで、今回期間が合いませんでしたので、高校生の出場はなしとなっております。

○D委員

わかりました。ありがとうございます。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。ほかにないでしょうか。

○C委員

今回、園児の参加が各園という形でありますけれども、2園の選定基準というか、応募を受け付けるということですが、どういった経緯で保育園、幼稚園、認定こども園が対象になったのかを教えてください。

○文化課長

武雄市におきましては、こども教育部ということで、保育園、幼稚園、認定こども園、それから小学校への連携というのを非常に重く見ております。そういった中で、こういった保育園の年長児の皆さんに出場していただくというのは非常に意義があると思っております、保育園長会などでもう説明はしております、希望が出ましたら、そちらのほうにお願いをしたいと思っております。

○C委員

もう希望出ていますか。

○文化課長

希望が出ておりませんで、こちらのほうから多少働きかけをいたしたいと思っております。

○C委員

ちょっと私見でよろしいですか。この開催の目的に「自分なりに感じることのできる心豊かな“たけおっ子”」とありますけれども、もちろん、園児の子どもたちが自分たちで感じたり、言いたいことは必ずあると思いますが、4分間それを話す、4分にしろ3分にしろ1分にしろ、果たしてそれが自分たちの気持ちとして話すような、いわゆる主張ができるような発達段階であるのかなというのを考えると、小学校各校を代表して出てくる子は多分低学年は出ないんじゃないかなと思ったときに、もちろん、例えば園の卒園式とかで子どもたちが卒園の最後の言葉を話したりしますけど、10分だろうが20分だろうが、しゃべれるんですよね。でも、それはあくまでも保育士がつくったものを言わされている、こういう言い方

はおかしいですけれども、まねして言っている、何回も練習して言っているということでしょうか、私は 10 年ぐらいしか経験がないんですけれども、それしかやっぱりできないんじゃないかなと私自身は思っておりますので、各園の園長先生方も、もちろん、出られる方がいらっしゃればそれにこしたことはないなと思いますけれども、やはり子どもの発達段階とか、この趣旨、目的を考えたときに、出られるのはちょっとどうなのかなと、これはあくまでも私見ですけれども、考えておりました。

以上です。

○教育長職務代理者

はい、どうぞ。

○文化課長

今回、園児の皆さんにお願いするのが初めての試みということで、おっしゃるような問題点がいろいろあるかと思います。今回はお一人の子どもさんに4分ということではなくて、年長クラスの皆さん全員に舞台のほうに上がっていただいて、一言ずつでもというスタイルでできないかなと思っております。その際にどういったことを、例えば武雄で好きなこととか、いろんなテーマ設定がどういうのがふさわしいのかというのは園のほうと御相談をしながら、スタイルも含めて考えていきたいと思っております。

○教育長職務代理者

ということですが、C委員さん。

○C委員

それは一緒にして、この趣旨に合いますか。園児が来ると親が必ず来るので、盛り上がるんですよ。例えば園の年長さんが全員で舞台に上がるというと、両親、おじいちゃん、おばあちゃん、20 人来たら 100 人来るみたいな、そういうところはあります。卒園する際に言葉をしゃべらなきゃいけない、字を書けなきゃいけない、数字を覚えなきゃいけないということは、あくまでもそれぞれの子どもたちの主体性にかかっているんで、必ず数字を覚えて上がりなさい、平仮名で自分の名前を書けるようになって上がりなさいとしていないので、それが十分にできないままに、例えば舞台に上がって話すということを、いわゆるお遊戯会とか発表会とか、同じ子どもたちが発表する中でそういうのが出るというのはいいんじゃないかなと思いますけど、このたけおっ子の主張という中で、そういうのが並列として行われるのはちょっと違うのではないかなと感じますが、いかがでしょうか。

○文化課長

教育委員会に事前に御相談をしたらよかったのかと思いますが、実際既にこの件につきましては園のほうに御相談をしておりますので、今回のやり方を含め、また終わった後、反省を含めて再度、来年度については検討していきたいと思っております。

○C委員

よろしくお願いします。

○教育長職務代理者

じゃ、ほかにないでしょうか。はい、お願いします。

○こども未来課参事

「たけお子どもフェスタ」の御案内をいたしたいと思います。

お手元のほうにチラシがあるかと思います。

「たけお子どもフェスタ」ですが、日にちが11月17日日曜日の10時から15時ということで、武雄の物産まつりと同時開催ということで企画をしております。

メインの会場としましては、ミーティングホールのほうに親子で楽しもうということで、「たけおこどもゆうえんちはじめます!」というテーマで、市内の認定こども園、保育園、幼稚園の先生方による1日限定の手づくり遊園地ということで準備を進めているところです。

あと、「赤ちゃんコーナー」や「しあわせおゆずりコーナー」などを企画しております。

全体として、親子さんに「わくわくをずっと ドキドキをもっと」ということで準備をしております。皆様どうぞよろしければおいでいただければと思っております。

以上です。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。

ほかにないでしょうか。お願いします。

○新たな学校づくり推進室長

お手元に「プログラム成果発表会【武雄市大会】」のチラシのほうを配付させていただいております。

この取り組みが、Pepper社会貢献プログラム事業に参加して進めている事業の一つでございます。それで、平成29年度からこの社会貢献プログラムに参加して進めておりますが、今年度は3年目ということで、この成果発表会も3回目ということで実施をしていくということでしております。

武雄市大会、日時が11月9日土曜日です。午前9時から午後4時10分までということで予定をしております。会場につきましては、武雄小学校のたけおっ子ホール、こちらのほうを会場として予定しております。

去年は、市民ホールのほうで実施したんですが、先ほどから説明ありましたように、今回の被災関係での窓口設置といったところで、武雄小学校で実施することとしております。

内容については、市内の全小・中学校から代表が参加し、こちらの資料の中ほどにあります小学校部門、中学校部門、フリー部門、それぞれのテーマを設けたこの取り組みを各学校で考えて、こちらの大会に参加するということになります。

このテーマに基づいて、各部門ごとの最優秀賞チーム、優秀賞チームそれぞれを決めます。

その中で、それぞれの部門での最優秀チームを、ソフトバンクグループが主催する最終予選会に推薦という形になります。この最終予選を通過したチームが、来年2月9日、ソフトバンクが主催する全国大会へ出場ということになろうかと思います。こちらに向けて、各学校で現在頑張っているところです。

11月9日当日、各委員さん、お時間ありましたら、こちらのほうにも参加いただければと思いますので、お知らせします。

以上です。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。

お願いします。B委員さん。

○B委員

このペッパーは来年度からはどうなっていくのか、見通しはあるんですか。3年間ということだったんですけど。

○新たな学校づくり推進室長

御質問のこの社会貢献プログラム事業ですね、一旦今年度で終了ということになります。ただ、再度、来年度からソフトバンク側がペッパーのほうを各学校1台無償提供していくということで考えをなされています。それに向かって武雄市がどう取り組むかということが、現段階でははっきりした形はちょっとまだ御説明することはできないんですが、来年度の予算関係もございますので、学校関係ですね、こういったところを検討しながら進めていくということになろうかと思います。

○B委員

そしたら、五、六台は返すということになるわけですね。

○新たな学校づくり推進室長

その台数が、1台は無償ですが、2台目からは有償という形になります。こういったところの学校が必要とする台数、例えば、プログラミングを進めるに当たって、絶対ペッパーなのかどうかということも含めて検討をしていくということになろうかと思います。

○教育長職務代理者

ありがとうございました。B委員さんいいですか。

○B委員

はい。

○教育長職務代理者

C委員さん。

○C委員

3年目ということで、初年度、全国で金賞をとったかと思うんですけども、今まで武雄

市でいろんな学校が、非常に魅力的なソフトをそれぞれの学校でつくったと思うんですけども、すみません、全部私も知らないんですが、それをお目にかかることとか、例えば、学校で実際使えるとか、武雄北中の金賞をとったものは、外国の方のための、プログラムだったと思うんですけども、それを実際使えるようなところがあるのか、現時点ではわかったりしますか。もしくは、それが学校で見ることができるようになったりしますか。

○新たな学校づくり推進室長

実際その活用といったところになろうかと思うんですが、活用について、市内の中で、例えば、先ほどお話がありました平成 29 年度の金賞を受賞したところは観光に役立つといったところでの取り組みでありました。3カ国語の案内といったところになるんですが、そちらの会場は一応図書館を想定してあったんですが、その後、実際図書館で実施をされているかどうかというのは、すみません、把握はしていないような状況です。

今後についても、現在の、今年度においての取り組みといったところもあろうかと思います。今年度については、特に課題を実際解決する策までプログラミングをしていくということになろうかと思いますので、調査から実施になるといったところになります。現段階で各学校、調査を——場所まではちょっと私どももまだそれは把握していないんですが、そういう状況を踏まえながら進められていると。

さらに、前回のプログラム内容を拝見するということに関しましても、実際、学校等での取り組みとか、そういったものを私どももまだ確認をとっていないような状況なんですが、実際見たいということであれば、ちょっと御相談という形にはなろうかと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

C 委員さん。

○C 委員

先ほど、私はもう来年度ペッパーは全部返さなきゃいけないと思っていたんですけども、先ほど言われたように無償で残してもらえるというのであれば、今後使う可能性を考えて残されているのかなというのを考えたときに、武雄北中でこういうプログラムができたんだよと、教材になるかどうかは別として、こういうのをつくった先輩たちがいたんだよというのを、一つの学校だけじゃなくて、いろんな学校で見れるようにできればと考えていました。せっかく残るのであれば有効活用として、全国の1番になったものとか、武雄で金賞になったものとかを見れるような機会があったほうがいいのかと思った次第です。

以上です。

○教育長職務代理者

新たな学校づくり推進室長。

○新たな学校づくり推進室長

1 点御説明する件が、この社会貢献プログラムは現在3年目ということでありましたが、今年度から中学校においてI o Tということで、ペッパーのセンシング、センサー等を活用した取り組み、こういったものも今年度から始まっております。これはまた来年度も続ける形になりますので、そういうことを考えれば、やはりペッパーの必要性というところはおのずと出てくるのかなとは考えています。

あと、C委員さんのほうからありました先ほどの発表というか、作品の分ですね、それを他校のほうの共有とか、こういったものも意見があったことをちょっと御紹介していきたいと思っております。

以上です。

○C委員

よろしくお願いします。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。

ほかはないでしょうか。D委員さん。

○D委員

次回開催日程とかその他に入ったら、質問出せないのかなと思って、ここでいいですか。

○教育長職務代理者

はい、どうぞ。

○D委員

すみません、2点。

1つは、教育長さんか教育委員さんにちょっと聞きたいんですけど、自分がなかなか研修会とか懇談会に行っていないので、前回のPTAの懇談会を受けて、先ほど教育長さんが報告をされた働き方改革の県のPTAとの合同研修会の資料を見ると、今後、各学校なりPTAのほうにおろされるという手順のようですが、これまでも、この大きな3つの中で、親さんの、要するに仕事の関係で、仕事に行く途中に学校に送るということで、早い時間から来るということから、各学校、教頭さんが早目に開けんばいかんと、先ほど言われたように、寒い時に外に立たせとくわけにいかんと。そこは、保護者さんたちの理解や、あとは企業、事業所のある程度の理解も必要なのかなと。先生方だけではできない内容もあるのかなと思います。当然、時間外の対応は前回、課長さんがお話しいただいたように、どこの事業所でも、その時間帯から事前にしとって、本当、教育委員会のほうには御迷惑をかけるかもわからないんですけど、そのほうがいろんな問題を夜まで引きずらなくてもいいのかなという思いも感じつつ、理解できたんですけど。

もう一つ、やっぱりこれもPTA、保護者のしっかりした理解を得ないと、学校によっては教頭先生だったり教務主任の先生がその事務局をやると。武雄市なんかは、市連Pの事務

局が武雄中学校にあって、大変ほかの市町以上には進んでいるところだと思うんですね。その辺は今後、学校の先生方の働き方改革でPTAとしても理解はするとは思いますが、実際にそれがクレームであったり、学校に負担がかからないように、学校への説明以上に、しっかりと事業所やPTA、保護者への説明が大事じゃないかなと感じたもので、ちょっとそこ、もし、この前の市のPTAの懇談会でその辺の話が出たことがここにも生かされているのかどうかをひとつお尋ねしたいというのがまず1点目ですが。

その点、懇談会に僕が行ってなくて申しわけありません。

○教育長

この県との会議は各地区の代表も参加されています。武雄市は岡本会長ですけれども、県の理事として参加されています。恐らく——恐らくとしか、まだはっきりとはわかりませんが、それぞれの地区でやっぱりいろんな話し合いをされているみたいですね。

おっしゃるように、保護者の方がその辺を理解してもらおうと。「先生が…」となったら意味ないわけですね。ですから、これまで以上にそこについては県Pが、これはおかしいとは思いますが、県Pから、連合会から伝達、伝達、伝達と、このルートだけではおもしろくないなという意見は言っていたんですけれども、そういうことで、各単Pまできちっとそういう話が行くようにという強い思いは持っておると。ただ、不十分な点は当然出てくると思います。ですから、その辺はお互いにフォローし合う部分というのが要るかなと思います。

○D委員

ありがとうございます。

あと、もう一点、済みません。問題行動の人数の報告がなされていて、生徒のいじめじゃない、教職員のいじめも、ちょっと情けない話なんですけど、伊万里の幼保対策協議会のあり方みたいなのも、昨日とか一昨日ぐらいの新聞にちょっと載っていたように、少しまた中学生、小学生高学年あたりの荒れが出始めているのかなと、ちょっと勝手に危惧しております。10年一区切りでよくそういうのもあって、以前、自分が関わった学校では大変皆さんに心配かけた時代もありましたけど、あれからまた10年近くなってきた、ここにいじめ、それから問題行動、不登校、多く増えているとは思わないんですけど、なかなか心配の傾向もあるのかなと思う中で、学校の危機意識というか、何か課長さんから常時こういうことを報告しながら指導されていると思うんですけど、その辺は、問題行動とかが増えているとか、ちょっと心配の、その小学校、去年が非常に多かったというのが、去年ずっと報告であっていましたが、その子たちがもう中学校に入っているのか。中学1年のときにはなかなか見えないことが、2年、3年になって起こってくるので、その辺のことあたりの危機感というか、その辺をもし課長さん、校長会とか何かで話題になっているようなことがあったらお話しただければと思います。

○教育長職務代理者

学校教育課長いいですか。

○学校教育課長

不登校の状況、いじめの状況、問題行動の状況というのは、市全体として、必ず月1回行われている校長会で話をしています。当然その対応についても、十分いろんな見方をして、チームを組んで、学校で対応するようにという話はしております。

おっしゃるように、不登校の小学校のほうが、昨年、30日以上が少し増えていまして、これも増えないようにスクールカウンセラーさんとか、スクールソーシャルワーカーさんとか、そういったいろんなところなど、外部との連携も含めて対応をしているところです。

○教育長職務代理者

ありがとうございました。

○D委員

ありがとうございます。

○教育長職務代理者

ほかにないでしょうか。F委員さん。

○F委員

最近、台風19号の報道で随分陰が薄くなったんじゃないかなと思うんですけど、やはりショックだったのが、神戸における教職員間同士のいじめというか、多分、傷害事件じゃないかと思えるような事例であったんだと思うんですけども、その余波というか、もろに影響を受けているのは実は子どもたちであったと。現に、不登校とか非常に増えているという報道がなされていたわけですけども、やはり学校のそういう雰囲気が生徒にやっぱりもろに影響することを非常に懸念する気持ちが強くあります。

つきましては、武雄市内、そういう事例が行われているとは決して思わないんですけども、やはり先生たちが相談できる体制づくりというか、まだ来年度ありますので、していただいて、恐らく各学校には、パワハラとかセクハラとか、相談員と位置づけられている先生方がいらっしゃると思うんですけども、なかなかその活用がされているかどうかというのは不明でもありますし、特に若い先生たちが、自分が悩んだりするようなところで相談ができるような雰囲気づくりをお願いしたいと思います。

僕が言いたいのは、それは要するに子どもたちの教育に関わっていると。子どもたちの成長に関わっているということを念頭に置いての、そういう雰囲気づくりをお願いしたいなと思います。要望です。

○教育長職務代理者

今、要望ということで、学校教育課長よろしいでしょうか。

○学校教育課長

学校のほうにも、先ほど委員さんおっしゃったように、相談を受ける人というのは年度当初にきちんと教職員のほうにも話がなされております。各学校少なくとも2名はいます。今後も引き続きそういった相談ができるような体制づくりというのは行っていきたいと思えます。

○教育長職務代理者

どうもありがとうございました。よろしくお願いいたします。

ほかにないでしょうか〔「なし」と声あり〕。

じゃ、次の日程に行ってよろしいでしょうか。

次の開催日ですけれども、11月15日金曜日です。15時から4階の会議室ということになっておりますので、よろしくお願いいたします。

その他で何かないでしょうか。よろしいですか〔「なし」と声あり〕。

じゃ、これで終わりたいと思います。どうも皆さんお疲れさまでした。

午後3時57分 閉会